研究分野と学びの流れ

専門家としての技能を身に付ける

4年次は卒業研究を行います。社会的要請の高い問題に取り組み、即戦力となる専門家として必要な技能を身に付けます。

研究室に所属し実践力を高める

3年次からは研究室に所属。事例研究では企業や行政との共同研究などを通じ、知識を実践に生かすための検討を行います。

さまざまな理論と教養を修得

語学をはじめ、今後の研究で必要となる統計学・経済学、物理、情報リテラシーなど、幅広い分野を学びます。その中で自らの興味を深めるとともに、3年次からの研究への知識と素養を身に付けます。

4年次

卒業研究

3年次

研究分野〈2領域〉

環境経営分野　持続可能な社会に向けた生産・消費活動を推進するための、的確な環境経営の専門能力を身に付ける。

主な専門科目
- 持続可能なサプライチェーンマネジメント
- 企業経営とサステナビリティ
- 環境マーケティング
- ライフサイクルアセスメント
- CSRの理論と実践
- 環境監査
- エコデザイン

環境政策分野　環境問題解決のための法整備、市場経済のあり方、環境政策とその形成プロセスに関する理論と方法を社会学的視点から学ぶ。

主な専門科目
- 開発協力と環境
- 環境経済学
- 環境ガバナンス論
- 環境社会学
- 国際政治経済論
- グローバルガバナンス
- 国際経済と環境

2年次

専門基礎科目
- 公共経済学
- 社会調査
- 横浜・川崎学演習　など

1年次

基礎科目
- 外国語科目
- 教養科目

環境マネジメント学科の特徴

特徴1

企業・市民団体・自治体との協働による、実践的なプロジェクト教育を推進。環境コミュニケーション能力を養います。

特徴2

経営・経済・法律・会計・国際などの社会科学分野をベースに、地球科学やエネルギーなど環境経営に必要な理工学的な知識も学びます。

特徴3

自然環境への配慮が評価され、大学で初めて環境ISO14001の認証を受けた横浜キャンパスの特長を生かし、実践的な最先端の環境教育に取り組みます。

めざせる資格

- ●社会調査士
- ■環境サイトアセッサー
- ■環境マネジメントシステム審査員
- ■環境管理士
- ■公害防止管理者
- ■宅地建物取引士

卒業後の進路は P.100へ▶

●…所定の単位を修得すると得られる資格（実務・研修・講習を含む）　■…めざせる資格　▶教職課程・資格の詳細はP.81

▶教職課程・資格の詳細はP.81

4年間のカリキュラム

年次		専門基礎科目	専門科目：学科基盤科目	専門科目：学科専門科目［環境経営分野］	専門科目：学科専門科目［環境政策分野］	専門科目：卒業研究関連科目
4年次	前期					卒業研究
4年次	後期					卒業研究
3年次	前期	環境都市関連法（2） 土地利用と法 NPOとソーシャルビジネス 都市気候論	国際環境法 環境マネジメントとデジタル社会	環境マーケティング CSRの理論と実践 企業経営とサステナビリティ 環境監査	国際政治経済論 国際経済と環境 合意形成論	★事例研究
3年次	後期				グローバルガバナンス	★事例研究
2年次	前期	情報セキュリティ 社会調査 画像処理技法 世界から考える環境問題 環境化学 公共経済学 横浜・川崎学演習	マネジメント数学 財務会計 環境コミュニケーションとライフスタイル 環境教育 環境法概論 エネルギーと社会	ライフサイクルアセスメント	環境社会学	
2年次	後期	キャリアデザイン 生態環境実習 地理情報システム＊ 環境アセスメント概論 環境都市関連法（1） 環境計量学	食料問題と環境	持続可能なサプライチェーンマネジメント エコデザイン	開発協力と環境 環境経済学 環境ガバナンス論	
1年次	前期	環境マネジメントシステム 統計学基礎 数学入門 環境基礎 基礎生物学 都市環境学概論 マクロ経済学	環境経営入門 環境政策入門 温暖化の科学			
1年次	後期	マネジメント入門 基礎プログラミング演習 環境倫理 環境数理学入門 生態学概論 ミクロ経済学	持続可能な消費 アカウンティングシステム エコマテリアル 環境統計学 環境と文化			

主な卒業研究テーマ
- パーソントリップデータを用いて都筑区民の移動形態についての考察
- 交通に関する政策の分析と評価
- ニューツーリズムによる地方活性化の可能性
- 中山間地域におけるグリーンツーリズムの役割について
- 市民の環境配慮行動・環境評価の分析

授業PICK UP

★事例研究〈3年次〉
（古川研究室〔環境法政策〕）

広く環境法や環境政策に関わる研究を行います。たとえば「再生可能エネルギーの地産地消」「生態系保全の法制度」「地方創生・コンパクトシティ」等にまつわる課題に対し、解決策を提案することをめざして文献調査や聴き取り調査等を行っています。

授業PICK UP

★事例研究〈3年次〉
（佐藤［真］研究室〔環境教育と国際協力〕）

アジア太平洋地域を中心にした国々における関連活動に密接に関わりつつ、持続可能で包容的な社会の構築に向けて、環境倫理・価値観を掘り下げ、教育・学習のあり方、社会参加と国際協力などについて研究をしています。

※上記のほか、教養科目、語学科目などの学部・学科共通科目を設置しています。詳細はP.75をご覧ください。
■字は選択科目　■字は必修科目

カリキュラムは平成29年4月現在のもので、一部変更される場合があります。
※右上に＊がついている科目は2年集中実習です。

専門的に学べる研究室

- 《環境経営分野》**伊坪研究室**（ライフサイクル環境評価）
  気候変動、水問題、資源循環といった環境問題をライフサイクルの視点から評価
- 《環境経営分野》**郭研究室**（持続可能な環境型生産システム）
  リサイクルを考慮した製品設計など、生産現場を重視した問題意識と解決策について研究
- 《環境経営分野》**フィッツギボンズ研究室**（情報マネジメント）
  人と情報との関係性、情報プロセスについて多面的に研究
- 《環境政策分野》**岡田［啓］研究室**（環境・エネルギー政策）
  主に交通を対象に、経済活動起因の環境問題のメカニズムや環境政策の効果を分析
- 《環境政策分野》**古川研究室**（環境法政策）
  環境問題を法という「しくみ」を通して理解し課題を抽出、解決策を模索する
- 《環境政策分野》**佐藤［真］研究室**（環境教育と国際協力）
  持続可能な社会の実現に向けた能力開発と協働のしくみづくりについて考察を深める
- 《環境政策分野》**大塚研究室**（環境思想と農業食料問題）
  社会調査の手法を用い、環境問題をコミュニケーションの問題として考える
- 《環境政策分野》**馬場研究室**（環境ガバナンス）
  科学者と政策担当者、利害関係者、市民が協働して環境エネルギー問題の解決を探る

研究の学び、研究室の内容は、WEBをご覧ください▶